

令和3年8月27日

南砺市長 田中 幹夫 殿

福野地域づくり連絡協議会 会長 大橋隆樹



福野中部まちづくり協議会 会長 西 賢一郎

福野北部地域づくり協議会 会長 河合 耕一

福野東部地区振興会 会長 田原 清則

高瀬西地域づくり協議会 会長 中井 邦夫

福野南部地域づくり協議会 会長 大橋 隆樹

福野西部地区協議会 会長 水木 猛

安居地区協議会 会長 東田外司彦

紹介議員 南砺市市議会議員

石川 弘

畠中 伸一

齋藤 幸江

福野地域に関する要望書

(令和3年度)

南砺市の各地域がバランスよく発展することで、「持続可能なまちづくり」は実現されるものと考えます。福野地域の持続可能なまちづくりのため、福野地域が抱える課題解決に向けて、私どもは取り組んできておりますが、行政の働き無くしては解決できない大きな課題があります。

昨年に引き続き、ここに行政への要望書として提言させていただきますので、ご配慮賜りますようお願い申し上げます。



1. 福野地域の「新しい核となる拠点づくり」の提言実現に向けた、複合交流施設の整備推進について(継続)

福野地域提言実現検討組織の「拠点づくり」グループは、「福野地域の新しい核となる拠点づくりの提言」として、ファブリカトヤマ跡地に「幼児から高齢者までが交流できる空間(賑わいの創出)を兼ね備えた複合交流施設」を建設する構想案を検討しております。官民連携事業として、この構想案を基にし、福野地域の発展、活性化を行政が主体となり強力に推進していただくことを要望します。

(添付の構想(案)概要書を参照)

H30-027-001
まちづくり推進係

2. 福野駅東西周辺の改善整備について(継続)

福野駅の西側市営駐車場は狭く、駐車場への進入路は分かりにくい上に道幅は狭く、利用者には大変使いにくい駐車場です。また、駐輪場は駐車場の奥にあり、利用者の安全面で使い勝手の悪い配置になっております。さらに駅東側は乗客の出入り口がなく、福野高校への通学導線の不便さが問題になっております。このような福野駅周辺の改善整備は、パークアンドライドに対応した駅前再開発として早急に整備されることを要望します。

H28-009-004
公園・河川係

3. 都市計画道路百町二日町線の早期整備について(継続)

JR城端線との立体交差区間の整備については、福野地域の最重要課題として早期に事業化されるよう要望しているところです。

富山県砺波土木センターにおいては、事前調査の予算が計上されているとのことです。さらなる事業の伸展を要望します。

R02-019-001
街路係

4. 準用河川清水川(上津地内)の補修について(継続)

清水川は、1953年(昭和28年)川崎橋上流で小矢部川堤防決壊による水害後の復旧工事で完成し今日に至っております。

下流合流点より300mの区間は、石積護岸で崩壊や堤防法面の亀裂が広範囲に広がっており、堤防の草刈り作業にも支障を来す状況です。

(資料参照)

今回の要望では、下流合流点より300メートルの範囲を堤防高さまでブロック積として整備して頂きますよう要望します。

H29-014-001
公園・河川係

5. 公共交通空白地域の解消について(新規)

市内公共交通マップを概観すると、特定の地域の交通不便さが際立っております。高瀬西及び福野東部地域がそれに該当し、当該地域の交通の利便性向上を図ってもらえるよう要望します。

(なんバスルート図への追加ルート案を参考に提案)

R03-016-001
交通政策係

6. 主要地方道福光福岡線整備促進について(新規)

本路線上で安居農村公園前から安居交流センター前の区間については、幅員が特に狭隘であり、近年の急激な交通量の増大と、大型トラックの頻繁な通行により、普通自動車のすれ違いも厳しい状態です。さらに歩行者が身を避けるスペースすらありません。交通安全上、非常に危険な状態であり、早急に改良整備を要望します。

R03-016-002
道路建設係

目的

この構想（案）は、様々な地域課題を解決するとともに、福野地域の価値を高め、将来にわたって持続可能なまちづくりを行っていくために、旧富山紡績工場跡地を活用して、地域の人々が心も体も健康で、幸せに暮らせる「ORACCHA」と称する集いの場を、民間主導の公民連携事業で創出しようとするものです。

背景と課題

庁舎統合の議論を契機に、各地域で将来に向けたまちづくりの検討が行われ、福野地域では、令和2年8月に地域全体の意見交換会が開催され、空き地となっている旧富山紡績工場跡地を、地域の新たな拠点として複合交流施設の検討等を進めていく方向性について、地域の合意が確認されました。

現在、南砺市では、合併前からの多くの公共施設について、再編（譲渡・統合・複合化等）が行われていますが、財政の逼迫は収まらず、これからの施設整備・施設運用については、公共だけではなく民間の資本や活力が不可欠となっています。

地元の福野中部地区の活動と連携しながら、民間活動として取り組んでいくことが重要です。

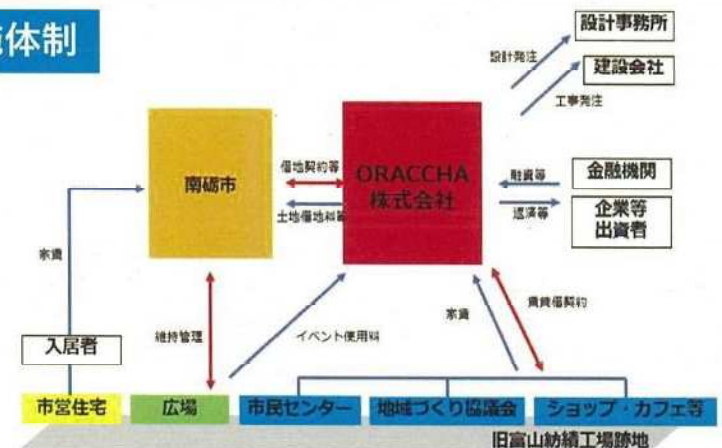
福野地域および南砺市の課題

- ・医療費、介護費の増大
- ・一人暮らしの高齢者の増加
- ・起業支援が手薄化
- ・人材の流出（生産年齢人口の減少）
- ・ヒートショックによる死亡事故

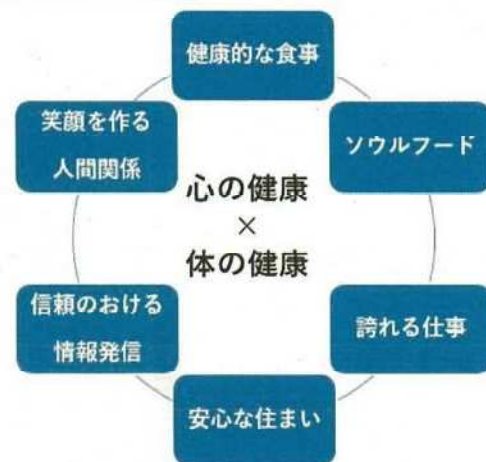
配置イメージ



実施体制



事業内容 キーワード



ORACCHAの主な機能

「広場」

圧倒的なランドスケープ（景観・風景・見晴らし）で、南砺のエンターテインメント（人々を魅了するもの）の入り口となる。

○雨天でも利用可能な広い屋根付き

「複合施設」

広場とつながり、多世代が交流し、イキイキと活動できる。

新しいチャレンジを誘発し新たな仕事を生み出す。

○貸室、シェアキッチン、ただのあそび場、福野中部交流センター、福野市民センター、各種テナント

「市営住宅」

暖かく涼しく健康的、そしてCO2を排出しないゼロカーボンの住宅。

事業実施スケジュール



「ORACCHA」という名称には、「おらっちゃ」（自分たち）で「おらっちゃ」（福野）の幸せな未来を創る、という意味が込められています。



上津地内・1 清水川下流



上津地内・2



上津地内・3



上津地内・4



本江地内・5 小矢部川、旅川合流点への清水川排水ゲート



上津・柴田屋境・7



柴田屋地内・7



柴田屋地内上流・8





空白地帯に追加路線(赤線)



ほっと あつと な

